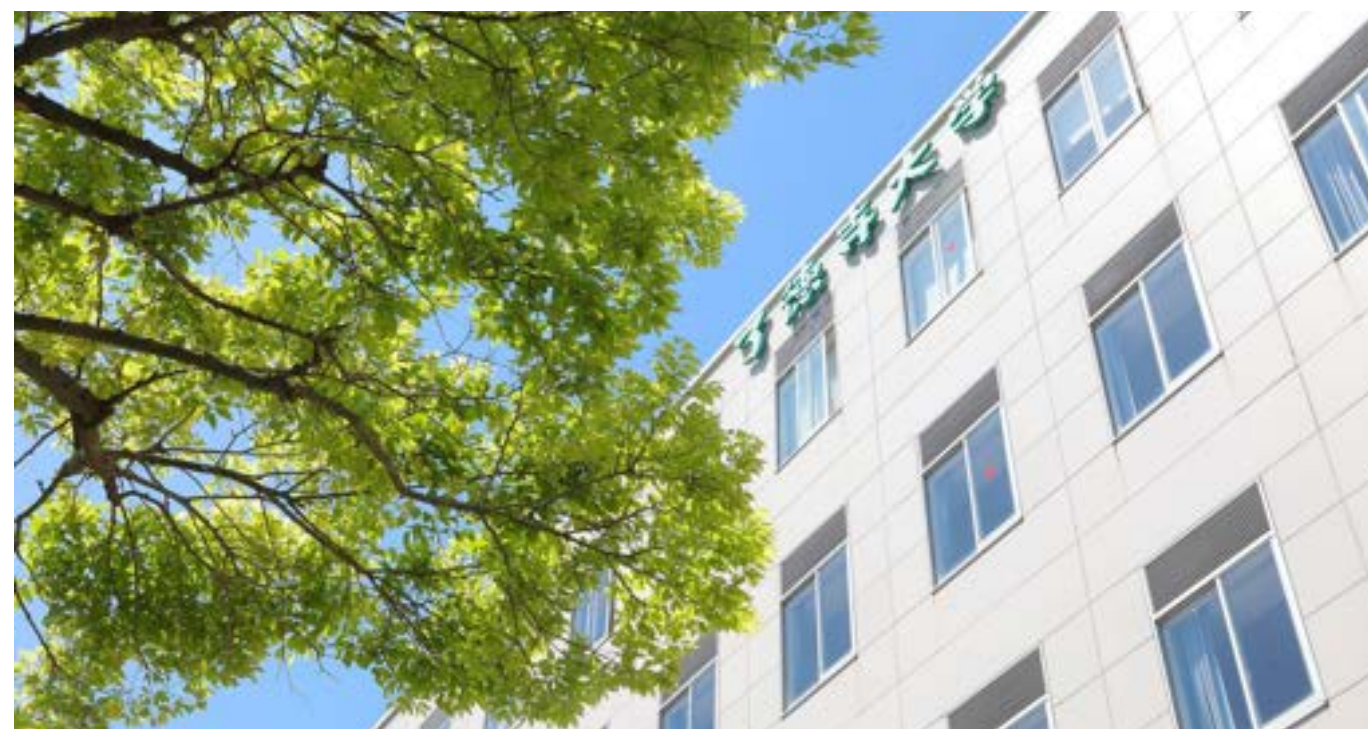


入学前課題の手引き

入学前課題の意味を理解して、
高校から大学入学後の学びをスムーズに！



目次

- 1 入学前教育を行う意味
- 2 高校卒業までの学びと大学講義
- 3 入試から大学入学後への流れ
- 4 課題内容について
- 5 入学前課題の提出について
- 6 入学前課題のダウンロードについて
- 7 高等学校での学習、
復習・基礎学力UP 推奨サイトのご案内
- 8 医学教育センター推奨学習について

1 入学前教育を行う意味

大学での学びの先取り、高校までの内容を復習。入学後、スムーズに学習に取り組むための準備！



学びへのモチベーションを維持

大学入学後、**数日のオリエンテーション期間を終えるとすぐに通常授業がスタート**していきま
す。合格発表から大学入学までの期間も一定量の課題に取り組むことで適度な緊張感を保ち、
学びへのモチベーションを保つことができます。



事前に大学での学びを知る

入学前課題では、入学後の専門科目等の課題も多く含みます。しっかり取り組むことで、入学後の学びの内容をより具体的にイメージすることができます。必要な基礎知識を入学までにできるだけ身につけておけば、その分**講義内容も理解しやすくなり、入学後の学習がスムーズ**になります。



大学での学びに対する不安の解消

大学講義では、高校までの基礎知識がたくさん活用されます。特に、**医療系大学では理科の分野（特に生物・化学・物理）が必須**となります。選択等で受けたことのない科目も、入学前に基礎をしっかりと学習しておくことで安心です。

2 高校卒業までの学びと大学講義

高校卒業までに学校で勉強したことは、大学での講義で大活躍！！しっかり復習をしておきましょう！

理学



特に“理科”

高校までの学習内容は全て今後に役立ちます。たとえば、理科の物理であれば、身体の動きや筋力測定などを学習する際に“てこ”や“力（モーメント）”の知識が役立ち、理解が深まりやすくなります。

整復



生物、化学

解剖学や生理学では高校で学ぶ生物の知識が役立ったり、化学の知識（化学式など）が必要になることがあります。



物理

運動学の授業やトレーニング学では力学の基礎知識も必要になるため、高校で学ぶ物理の知識が役立ちます。

看護

看護は、対象となる人とその人を取り巻くすべてが看護の対象になります。



国語は、人の話が理解できること、伝えること、文章で表現することに役立ちます。



数学は、計算、ものの考え方に役立ちます。



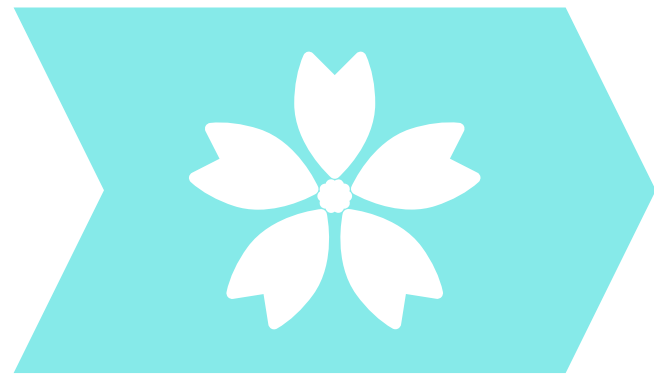
理科は、疾病の理解・治療・看護技術を理解するために役立ちます。



社会は、対象となる人の時代背景や現在の社会情勢を知ることによって、対象の理解につながります。

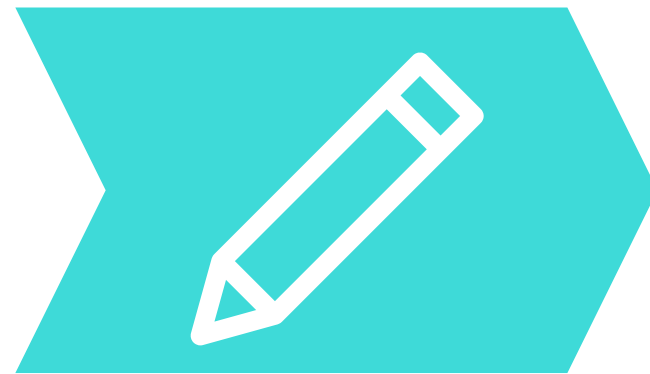
3 入試から大学入学後への流れ

1 - 入試 ~ 合格



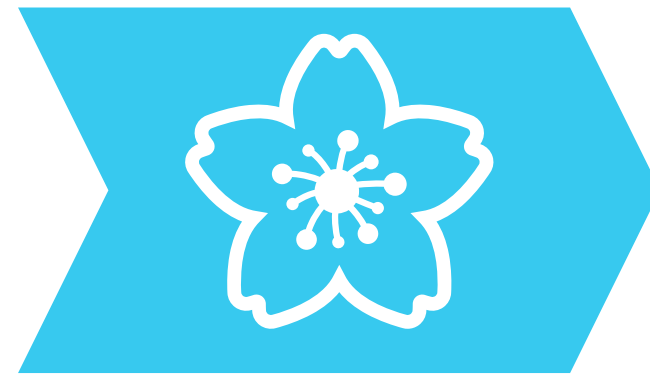
合格後、入学手続きを終えると【入学前課題の案内】が大学HPに公開されます。

2 - 入学前課題



入学前課題に取り組んでいただき、高校での学習を復習したり・大学入学後の勉強に備えます。

3 - 大学入学



入学式・オリエンテーション・クラス分けテスト等を終わると、すぐに授業がスタートします。

4 - 初年次教育



レポートの書き方や・社会人マナーの基礎等、スムーズな大学生活への移行に必要な勉強をオムニバス形式で行います。

5 - 初めての定期試験



入学して4ヶ月後の8月には前期15回の授業を終え、最初の定期試験が行われます。10月上旬に前期成績が自宅へ郵送されます。

4 課題内容について

一般教養科目
NHK高校講座を活用

- ✓ ベーシック英語
- ✓ 現代の国語
- ✓ ベーシック国語
- ✓ ベーシック数学
- ✓ 数学I



各学科専門科目		
理学	整復	看護
<ul style="list-style-type: none">✓ 骨の名称✓ 脳の機能✓ 肺の構造✓ てこ✓ 運動の法則✓ 国家試験過去問題✓ 動画視聴課題✓ 推薦図書について	<ul style="list-style-type: none">✓ 骨の名称✓ 脳の機能✓ 肺の構造✓ 生活習慣病について✓ 死亡原因について✓ 外傷について✓ 推薦図書の紹介✓ NHK高校講座学習	<p><u>専門科目の課題はありません。</u></p> <p>※復習・基礎学力UP学習にしっかりと取り組み、高校までの学習で不足している部分を各自で補いましょう。</p>



復習・基礎
学力UP学習

大学入学に向けて
自分に必要な学習
課題に取り組む



復習・基礎学力UP学習は、基本的に**自己責任**です。
推奨サイト等の動画教材や自身の参考書等を使って、今の自分に何が
必要かを考えて取り組みましょう。

5 入学前課題の提出について

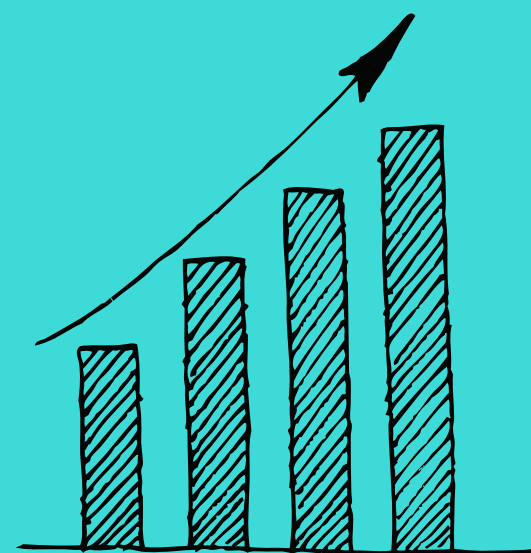


入学前オリエンテーション時に回収致します。

- 回収課題：
- ① 一般教養課題確認シート
 - ② 専門科目課題
 - ③ 課題進捗状況確認シート

クリアファイル等にまとめて提出してください。





入学前課題は、本学に入学した後に皆さんが授業に円滑に取り組むことができるように準備されたものです！

学習習慣を確立し、自ら学ぶ姿勢を養うようにしましょう。

大学ホームページ (<https://www.ryotokuji-u.ac.jp/>) で

「Topics 入学前課題の
ダウンロードについて」



をクリックし、入学前課題をDLしてください。

※家にパソコンのない方でも、コンビニや図書館・ネットカフェなどからダウンロードすることができます。

(質問等、連絡先：TEL:047-382-2111 学生支援課)

6 入学前課題の ダウンロード について

入学前課題
の他に!!

7 高等学校での学習

苦手分野の
学び直しに

復習・基礎学力UP 推奨サイト(無料)

01

NHK高校講座

NHK
高校講座

「学習メモ」と「理解度チェック」を活用して、各科目・単元ごとに効率よく学び直しができます。

「分かり易くて面白い!!」
教職員おすすめ教材

02

家庭教師のトライ

トライイット
Try it

中学生・高校生向け映像授業サービス

1授業は約15分! 空き時間でサクッと学習!
ずっと0円で観ることができるハイクオリティな
映像学習サービス

理学推奨単元

※ NHK高校講座を使用

※ NHK高校講座における理科(物理基礎と、本学、医学教育センター推奨内容(生物基礎、化学基礎、ベーシックサイエンス、科学と人間生活))。医学教育センターの推奨内容は、次のページをご参照ください。

整復推奨単元

※ NHK高校講座を使用

生物基礎(1回~28回)、物理基礎(10回~12回、16~19回)、保健体育(6回~10回、13回~14回)

看護推奨単元

※ NHK高校講座を使用

※ NHK高校講座における理科(生物基礎、化学基礎、ベーシックサイエンス、科学と人間生活)。推奨タイトル詳細は、本学、医学教育センター推奨内容(次のページ)を参照ください。

7 医学教育センター推奨学習について

生物基礎

1 学期

- (第1回) 生物の特徴
- (第2回) 細胞にみられる共通性と多様性
- (第3回) 生命活動を支える代謝
- (第4回) 代謝を進める酵素
- (第6回) 呼吸
- (第8回) 生物と遺伝子
- (第9回) DNAとゲノム
- (第10回) DNAの複製と分配
- (第11回) DNAの倍加
- (第12回) DNAの正確な複製
- (第13回) DNAとタンパク質合成
- (第14回) セントラルドグマ
- (第15回) 遺伝子の発現と生命現象
- (第16回) 体内環境

2 学期

- (第17回) 体液の循環
- (第18回) 血液のはたらき
- (第19回) 肝臓のつくりとはたらき
- (第20回) 腎臓のつくりとはたらき
- (第21回) 自律神経による調節
- (第22回) ホルモンによる調節 (1)
～血液によって送られる指令～
- (第23回) ホルモンによる調節 (2)
～ホルモン分泌量の調節～
- (第24回) 血糖値の調節
- (第25回) 免疫のシステム
- (第26回) 適応免疫 (1) ～細胞性免疫～
- (第27回) 適応免疫 (2) ～体液性免疫～
- (第28回) 免疫とヒト

化学と人間生活

- (第5回) 病との闘い
- (第6回) 遺伝子とは～iPS細胞～
- (第11回) グルメの神髄
～食品の科学～

化学基礎

- (第21回) 溶液の濃度
- (第25回) 酸と塩基
- (第26回) 酸と塩基の強さ
- (第27回) 水素イオン濃度とpH

※※※ これらは全て《 NHK高校講座 》の内容になります ※※※